

県政に  
挑戦

# かっきー奮闘通信

～創ろう未来の広島～ Vol.1



# かきもと 忠則

無所属・新人  
連合広島推薦

ただのり

**かきもと 忠則** 1982年3月23日 尾道生まれ 36歳

## 略歴

- 2000年 私立 如水館高等学校卒業
- 2000年 JR西日本(株)入社  
 駅務、車掌、新幹線運転士等を経験後、  
 総務、人事部門で勤務  
 JR西労組役員や連合広島会計監査等を歴任



新幹線運転士時代の家族写真

## 地域活動など

- 広島市東区PTA連合会 副会長
- 温品学区社会福祉協議会 理事
- 温品小学校PTA会長
- 温品おやじ苦楽部



## 趣味・その他

- バスケットボール
- 読書
- 買物
- 防災士取得!



## 活動紹介



公共交通の被災状況を説明



災害ボランティアの様子



小学生を集めて学校へ泊ろう会



防災士取得の勉強



街頭にて挨拶



県政に対する思いを演説

【後援会 会長】 かんばら としひろ  
 前県議会議員 **蒲原 敏博**  
 8期32年県政(東区)で活躍



私も、かきもと忠則さんの  
 活動を応援しています。

# 災害に強く安心して暮らせる、 住みたいまちづくりを目指します！

昨年7月に西日本を襲った豪雨災害では、広島県内では115名の方が犠牲となり、**土砂災害だけでも1,242件**（土砂流など609件、崖崩れ632件）国道や高速道路、鉄路も不通区間が長期化するなど被害が比較的小さかった地域でも県民の生活、経済に大きな影響を受けました。

私も**生命を守ることを最優先に考動**することを心がけてきましたが、平成26年8月の豪雨土砂災害以降、住民の方々の命を守ることはもとより、災害に強い街づくりをより一層考えるようになりました。

広島県内の土砂災害警戒区域は、急傾斜地が崩壊するおそれが、約3万箇所、土砂流出のおそれが約2万箇所と全体で約5万箇所あると推測されており、全国でも最も多い状況です。急傾斜地、河川等の点検、修繕、整備によるハード対策は必要不可欠ですが、すべてを整備するには、予算、工期含めても長期間を要し「明日来るかもしれない大規模災害」に対応するには困難な状況だと考えます。

一方で、避難勧告や指示を受け避難所へ避難した人が数%だったことや消防、警察への要請が多く、体制を強化しても対応できなかったというデータもあります。

生活者が防災に備えて安心して暮らせる街づくりの推進には、専門的な知識を有した人が、各自治体や自主防災組織に加わり活性化することが必要不可欠だと考え、私もこの度、**防災士の資格を取得しました。**

私は、これを契機に地域の自主防災、コミュニティーのあり方を検討し推進するとともに、**県政として街づくりのあり方、関係条例、生命や財産を守るためのハード面の整備等**を進め、災害時に被害が少しでも小さくなるよう、**地域・行政とのパイプ役**として取り組んでまいります。



防災士の合格通知

## かきもと 忠則は、地域・生活者・納税者の 目線から県政を考え、議員活動の見える化 を目指します！

かきもと 忠則オフィシャルサイトにて日々の活動を掲載！

かきもと忠則

検索

後援会は随時  
受付中です。

